

名前 稲葉謙太郎	派遣国 イタリア共和国
派遣期間 平成29年4月～令和2年3月	派遣された施設 ミラノ日本人学校
在外施設での分掌（学年や主な分掌など） 5年担任→6年担任→3年担任 ・特活主任，生徒指導主任，体育主任，情報主任	現在の勤務校 長岡市立川崎小学校
派遣された在外教育施設の様子 <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫校で合わせて約80名。12歳未満の児童は保護者と一緒に登下校している。バス通学もないため、学校周辺に居住している日本人が多い。離れたところから通学する児童生徒は、公共交通機関（地下鉄・バス）や自家用車を使って通学する。 ・主な学校行事としては、近くの運動場を貸し切って行われる運動会、学年ごとに出し物を発表する学習発表会、各学年2回ずつ行う現地校交流、小学部5年生～中学部3年生までが参加する自然体験やスキー学習がある。 ・英語科および音楽科・図画工作科については、現地採用の専科が担当している。 ・職員は、学校から徒歩で通える範囲に住んでいる。児童生徒も学校周辺に住んでいることが多い。 ・ミラノ日本人学校では、学習発表会や自然教室など日本では経験できない行事があり、他県の先生方と協力しながら取り組めたことはとてもいい経験になった。 ・休み時間はグラウンドや体育館などの安全管理当番が割り振られていて、毎日派遣職員が交代で行った。（アルプス山脈への自然教室の風景） 	
派遣国の様子（文化や風習など） <ul style="list-style-type: none"> ・地下鉄やバスの公共交通機関の中だけではなく、大聖堂などの人が多く集まる場所では、スリがよく発生している。事件が発生した場合、領事館から連絡があり、治安情報を確認することができた。 ・バール（カフェのような場所）があり、コーヒーを楽しむ人が多い。また、パスタ・ピザなどの小麦を使った料理が多く、レストランではよく食べられている。ワインやチーズの種類も豊富。 ・スーパーでは、野菜や果物を量り売りしている。 ・様々な国籍の方がいた。私の周りでは、中国やスリランカの方が多く印象があった。（移民の多い国ではあるが…） ・トウモロコシ畑やワイン畑が広がっている。フィレンツェ周辺は丘の上に町を作ったり、アルプス山脈周辺では、麓の周辺に町を作ったりして生活している。北イタリアと南イタリアでは、北イタリアの方が経済的にも豊かで、治安も良い。 ・パラッツォと呼ばれるアパートが多くあり、門番が常駐している。 	
派遣国での生活の様子 <ul style="list-style-type: none"> ・家族同伴でミラノに赴任した。子どもは地元の幼稚園に入園した。妻は、幼稚園の保護者として、3年間を過ごした。 ・管理職の考え方で、勤務時間に大きく変化があった。2・3年目は、比較的家族との時間をもちながら生活を送ることができた。休日には、家族でバール（カフェのような場所）やパン屋に行くのを楽しみにしていた。 ・日本食を作って生活していた。食料は基本的近くのスーパーマーケットで商品を購入した。日本食料品は、中華街や韓国食材店などで購入したが、日本の価格よりも2～3倍高かった。 ・宗教に関するイベントが、盛大に行われていた。キリスト教徒が多いため、キリスト教関係のイベントが時期ごとに開かれていた。 	